

平成 23 年度第 4 回 横浜市山内図書館指定管理者運営評価委員会会議録	
日 時	平成 23 年 10 月 26 日 (水) 午前 10 時から正午まで
開催場所	横浜市中央図書館 5 階第 1 会議室
出席者	延命委員長、荻原委員、藤崎委員、前田委員、渡辺委員
欠席者	なし
開催形態	公開 (傍聴者 5 人)
議 題	1 平成 22 年度山内図書館指定管理者運営評価に関する総合評価について
議 事	<p>1 平成 22 年度山内図書館指定管理者運営評価に関する総合評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山内図書館の平成 22 年度の活動実績及び事業者へのヒアリングに基づき、平成 22 年度の運営評価に関する総合評価を行う。 ・評価項目ごとの評価を確定させ、最終的に総合評価を確定させていく。 ・評価の目安は、A は概ね水準を上回る達成状況、B は水準程度の達成状況、C は水準に達しない達成状況とする。 ・大項目 1 「図書館の運営に関する全般的な事項」については、おおむね適正に運営されていると評価できるため、A とする。 ・大項目 2 「基幹的なサービス」については、各委員の評価が B の方が多くなっている。B という評価にならざるを得ないという印象がある。 ・大項目 3 「充実・推進を図るサービス」については、評価項目の範囲が多岐にわたっている。特に民間委託をして期待する部分でもあり、B がある以上は不成功だと思われるので評価は B として、改善点を特記事項として挙げたい。 ・大項目 4 「民間ノウハウを活かした新たな取り組み」については、民間ノウハウを活かした取り組みの、まさにそのために指定管理者を導入した意味合いがあると考えられる。これからさらに民間ノウハウを活かした取り組みを積み上げていってほしいという意味合いで B になるのかと思う。 ・大項目 5 「利用者満足度」については、利用者アンケートの結果から、全般に満足度が高いので A とする。 ・大項目 6 「施設の維持管理」のうちの危機管理体制及び災害対策については、日本中がナーバスになっている時期でもあり、非常に重要な項目である。この項目に B がついた以上は、大項目 6 を B ということにしたいと思う。 ・大項目 7 「収支状況」については、経費の執行状況はおおむね適切であるが、収支報告について、間接費の考え方について検討の必要があることから B という評価とする。 ・総合評価については、項目ごとに見ていくと B が多かったので B とする。期待をこめての B という評価が多いので、この B のニュアンスを委員会の付帯意見という形で残すこととする。 ・改善点・良かった点を付帯意見として事務局で整理し、委員の確認を経た上で、最終評価の中に盛り込むという形で整理する。
資 料 ・ 特記事項	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 23 年度第 3 回横浜市山内図書館指定管理者運営評価委員会会議録(案) (2) 横浜市山内図書館指定管理者運営評価 平成 22 年度の評価 (3) 平成 22 年度横浜市山内図書館 活動実績 <p>2 特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 23 年度第 3 回会議の議事録は承認。 (2) 平成 22 年度横浜市山内図書館指定管理者運営評価報告書は市立図書館のホームページで公表する。